

大規模氾濫に備える地域の取組方針

平成30年3月16日

南予地方局建設部 大規模氾濫に関する減災対策協議会

1 本協議会の構成

本協議会の参加機関及び委員等は、以下のとおりである。

参加機関	委員
宇和島市	宇和島市長
松野町	松野町長
鬼北町	鬼北町長
宇和島警察署	宇和島警察署長
宇和島地区広域事務組合消防本部	宇和島地区広域事務組合 消防本部消防長
愛媛県 南予地方局建設部	南予地方局建設部長
愛媛県 須賀川ダム管理事務所	須賀川ダム管理事務所長
愛媛県 山財ダム管理事務所	山財ダム管理事務所長

(オブザーバー)

参加機関	オブザーバー
国土交通省四国地方整備局 大洲河川国道事務所	大洲河川国道事務所長
気象庁松山地方气象台	松山地方气象台長

2 協議会の目的

平成 27 年 9 月の茨城県の鬼怒川流域での水害、平成 28 年 8 月の岩手県の小本川での水害では、多くの尊い命が失われたほか、多数の孤立者が発生するなど、近年、全国各地で甚大な被害が頻発している。

また、地球温暖化に伴う気候変動の影響が顕在化しつつあり、今後も、水災害の頻発化・激甚化が懸念されている。

本協議会は、本県においても、“大規模な氾濫は必ず起こる”との認識のもと、河川の氾濫から住民の命を守ることを最優先に、関係機関がより一層連携して、水防体制・避難体制の強化に取り組むものである。

3 地域の実行方針

河川の氾濫から“逃げ遅れゼロ”の実現を目指し、以下の施策に取り組む。

- (1) 円滑・迅速な避難行動のための取組
- (2) 洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための取組

4 概ね5箇年で実施する取組

(1)円滑・迅速な避難行動のための取組

1)情報伝達・避難計画等に関する取組

取組方針	取組内容	対象河川	取組機関	目標時期	取組内容			
					愛媛県	宇和島市	松野町	鬼北町
①洪水時における防災情報	ア.洪水時における情報連絡体制	・出水期前に水位到達情報等の連絡体制を関係機関で確認 (二)須賀川 (二)岩松川 (一)広見川 (一)三間川	全機関	引き続き毎年実施	水位到達情報等の連絡体制を減災対策協議会の協議事項とし、出水期前に関係機関で確認する。			
	イ.直接市町長等に河川情報を伝達する「ホットライン」の構築	・宇和島市と南予地方局建設部との「ホットライン」を構築 (二)須賀川	県 宇和島市	平成30年5月末	宇和島市長と南予地方局建設部長との「ホットライン」の構築			
		・「ホットライン」による訓練の実施 (二)須賀川	県 宇和島市	平成30年5月(以降毎年)	「水防時における河川水位情報等の伝達訓練(既存)」において「ホットライン」による訓練を追加			
	ウ.水位到達情報文の改良	「氾濫危険情報様式(愛媛県水防計画)」の改善 (二)須賀川	県	平成30年度	土木部河川課において、「氾濫危険情報様式(愛媛県水防計画)」を分かりやすい内容等に改良			
	エ.洪水時の河川管理者・市町等の防災行動を予め定める「水害対応タイムライン」の作成	・避難勧告の発令等に着目した「水害対応タイムライン」の作成 (二)須賀川	県 宇和島市	平成30年度から検討	避難勧告の発令等に着目した「水害対応タイムライン」の検討の着手			
		・「水害対応タイムライン」を使った関係機関による訓練の実施 (二)須賀川	県 宇和島市	平成30年度から検討	「水害対応タイムライン」を使った関係機関による訓練(上記タイムラインの作成に併せて検討)の実施			
②避難行動、水防活動に資する防災情報(河川情報・避難情報)の拡充に関する取組	ア.河川情報の拡充に向けた検討	・水害危険性周知河川の設定に向けた検討 (二)来村川 (一)広見川 (二)岩松川 (一)三間川 等	全機関	平成30年度から検討	設定に向けた検討			
		・その他、住民の「逃げ遅れゼロ」の実現に向けた河川情報の拡充に関する検討 全域	全機関	引き続き実施	・アラームメール(えひめ河川メール)の利用登録の啓発(H28年度～) ・河川監視カメラ画像をWebにより提供	・愛媛県アラームメール(えひめ河川メール)の利用登録の啓発 ・防災ラジオ、HP等多様な広報手段による周知	・愛媛県アラームメール(えひめ河川メール)の利用登録の啓発 ・防災無線、Lアラート等多様な手段による周知	・愛媛県アラームメール(えひめ河川メール)の利用登録の啓発 ・防災無線、Lアラート等多様な手段による周知
	イ.想定最大規模に対応した浸水想定区域図面等の整備・提供(水位周知河川)	・想定最大規模洪水を対象とした洪水浸水想定区域図の整備 ・家屋倒壊等氾濫想定区域の設定・浸水継続時間の明示 (二)須賀川	県	整備済(平成28年5月)				
	ウ.想定最大規模洪水に対応したハザードマップの整備・提供(水位周知河川)	・想定最大規模洪水による浸水想定に対応したハザードマップを整備 (二)須賀川	宇和島市	整備済(平成28年12月)				

取組方針		取組内容	対象河川	取組機関	目標時期	取組内容			
						愛媛県	宇和島市	松野町	鬼北町
②避難行動、水防活動に資する防災情報(河川情報・避難情報)の拡充に関する取組	エ.防災情報等の提供内容・方法等の拡充	・えひめ河川(かわ)メールによる河川情報のプッシュ型配信	全域	県	引き続き実施	河川水位、雨量等の防災情報の提供			
		・河川監視カメラ画像の提供	(二)須賀川	県		監視カメラ画像の提供			
		・各種避難ツールの活用・促進	宇和島市内	宇和島市	引き続き実施		コミュニティFM放送、防災ラジオ、安心安全情報メール、伊達なうわじま安心アプリ等の運用		
③避難計画等の作成に関する取組	ア.避難勧告等の判断・伝達マニュアルの作成・見直し	・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの作成、必要に応じて見直し	全域	宇和島市 松野町 鬼北町	引き続き実施	避難勧告等の判断、伝達マニュアルを必要に応じて見直し	避難勧告等の判断、伝達マニュアルの作成	避難勧告等の判断、伝達マニュアルの作成	

2) 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

取組方針		取組内容	対象河川	取組機関	目標時期	取組内容			
						愛媛県	宇和島市	松野町	鬼北町
①洪水に対する防災情報(河川情報・避難情報等)や避難に関する周知・教育に関する取組	ア.地域住民への重要水防箇所の周知	・関係機関と地域住民が連携した重要水防箇所の合同点検の実施	全域	全機関	引き続き毎年実施	出水期前に関係機関と地域住民が連携した重要水防箇所の合同点検を実施			
		・重要水防箇所の啓発チラシの配布、ホームページへの掲載	全域	全機関	平成30年度から実施	重要水防箇所の啓発チラシを作成・周知するとともに、県・各市町のホームページに掲載			
	イ.河川情報・避難情報等の活用や防災教育等の円滑・迅速な避難に向けた広報活動の実施	・河川情報やハザードマップの活用について説明やチラシ等を配布 ・県政出前講座「今日からできる河川防災情報の活用について」を開設	全域	全機関	引き続き実施	・説明や啓発チラシ等を配布 ・要望に応じ、出前講座を活用し、水災害教育を実施			
		・地域の小学校で防災教育を実施	全域	全機関	平成30年から実施	〔年1回、砂防学習会を利用して、河川災害、情報伝達等を説明〕			
	ウ.要配慮者利用施設への避難確保計画作成や避難訓練実施の促進・充実に向けた支援活動の実施	・要配慮者利用施設の管理者向け説明会の開催 ・避難確保計画の作成に関するチラシを配布	全域	全機関	引き続き実施	情報提供等による支援			

取組方針	取組内容	対象河川	取組機関	目標時期	取組内容				
					愛媛県	宇和島市	松野町	鬼北町	
②住民、関係機関が連携した避難訓練等の充実に 関する取組	ア.洪水時における多様な関係機関 が連携した避難訓練等の実施	・関係機関と地域住民が連携し た「水防時における河川水位情 報等の伝達訓練」を実施	全域	全機関	引き続き毎年 実施	要配慮者利用施設 を含めた訓練を呼 びかけ	要配慮者利用施設 と連携した伝達訓 練を実施(市内3施 設と連携)	[浸水が想定される 区域に要配慮者利 用施設なし]	要配慮者利用施設 と連携した伝達訓 練を実施(町内2施 設と連携)

(2)洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための取組

1)水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組

取組方針	取組内容	対象河川	取組機関	目標時期	取組内容				
					愛媛県	宇和島市	松野町	鬼北町	
①重要水防箇所の点検に 関する取組	ア.重要水防箇所の精査・見直し	・重要水防箇所の精査・見直し 及び関係機関相互の確認を実 施	全域	全機関	引き続き毎年 実施	減災対策協議会において、必要に応じ、重要水防箇所の精査・見直しを検討			
	イ.重要水防箇所の点検	・関係機関と地域住民が連携し た重要水防箇所の合同点検の 実施(再掲)	全域	全機関	引き続き毎年 実施	出水期前に関係機関と地域住民が連携した重要水防箇所の合同点検を実施(再 掲)			
②水防資機材の整備等に 関する取組	・水防資機材の点検・補充	・各機関が保有する水防資機 材を点検・補充するとともに、関 係機関が保有情報を共有し、 応援体制を確認	全域	全機関	引き続き毎年 実施	減災対策協議会において、資機材の備蓄状況について情報共有を行い、備蓄品 目の選定等について意見交換			
③水防訓練の充実等に関 する取組	ア.洪水時における情報連絡に関 する訓練の実施	・関係機関と地域住民が連携し た「水防時における河川水位情 報等の伝達訓練」を実施(再 掲)	全域	全機関	引き続き毎年 実施	要配慮者利用施設を含めた訓練を呼びかけ(再掲) ・要配慮者利用施設と連携した伝達訓練を実施(宇和島市内3施設、鬼北町2施 設と連携。なお、松野町には、浸水が想定される区域に該当施設なし)			
	イ.多様な関係機関が連携した水防 訓練の実施	・肱川総合水防演習への参加	全域	全機関	引き続き実施	肱川総合水防演習に参加			
	ウ.水防工法に関する知識・技術の 研鑽	・県政出前講座「水防工法につ いて」を開設	全域	全機関	引き続き実施	要望に応じ、出前講座を活用し、各種水防工法を説明			
	エ.水門、樋門等の施設点検及び樋 門操作員等安全確保に関する避難 基準の検討	・水門、樋門の施設点検の実施 ・操作員の避難基準の検討	水門・樋門設置河 川	全機関	引き続き実施	県管理の水門・樋門を点検			
オ.災害対策拠点に係る情報共有	・市・県庁舎や災害拠点病院等 の施設関係者への情報伝達、 機能確保の充実	全域	全機関	平成30年度 から検討	減災対策協議会において、浸水想定区域内の災害対策拠点である市町や県の庁 舎、災害拠点病院等の機能確保等に関する情報共有を行い、各施設管理者等に 対する洪水時の情報伝達体制、方法等を確認				

取組方針		取組内容	対象河川	取組機関	目標時期	取組内容			
						愛媛県	宇和島市	松野町	鬼北町
④水防に関する広報の充実等に関する取組	ア.消防団が実施する水防活動を広くPR	・県市町ホームページにおいて、消防団の水防活動をPR	全域	全機関	引き続き実施	県HP「えひめ水防活動最前線」において、活動を紹介			
	イ.水防団確保に向けた取組	・水防団員の募集等について検討	全域	全機関	平成30年度から検討	県HP「えひめ水防活動最前線」において、水防の最前線で活躍する水防団(消防団)の活動を紹介	県消防協会による消防団員確保キャンペーン事業及び未来の消防団加入促進事業を同協会と連携して実施	消防団員の確保対策と併せた取組(地域行事等において、お知らせを活用した呼びかけ)を実施	水防団員が、地域のイベント(地区運動会、でちこんか等)で入団の呼びかけを行う等、普段から団員確保に向けた取組を実施〔消防団員が水防団員を兼務〕

2)円滑・迅速な避難に資する施設等の整備に関する取組

取組方針		取組内容	対象河川	取組機関	目標時期	取組内容			
						愛媛県	宇和島市	松野町	鬼北町
①洪水を河川内で安全に流す取組		危機管理型ハード対策等	(一)内平ヶ谷川 (一)広見川	県	引き続き実施	引き続き実施			

5 フォローアップ

これらの取組を着実に実施し、本協議会の目的を達成するため、毎年、出水期前に進捗状況等をフォローアップするとともに、必要に応じて、これらの取組の改善を行う。